

クローバー通信

クローバー交流会での発表を終えて

呼吸器・アレルギー内科 林 ゆめ子

去る2月24日、クローバー交流会で発表する機会をいただきました。医師となり、出産、育児をしながらの大学勤務、大学院生時代、夫のドイツ留学と1年半の主婦生活、そして帰国後に大学勤務を経て一般病院で常勤医として勤務する現在までを振り返りお話ししました。大きな転機となったのはやはりドイツでの生活です。ドイツは日本と同じものづくり大国、先進国ではありますが、仕事に対する考え方が日本とは全く異なります。仕事はあくまでも人生の一部であり、自分のプライベートを充実させることを誰もが当たり前に大切にしています。日本でもワークライフバランスという言葉があちこちで聞かれるようになりましたが、一般社会はともかく、医療現場ではそれが浸透するには時間がかかるでしょう。女性医師にとっては、出産、育児の時期と医師としての研鑽を積む時期が往々にして重なるのが辛いところです。しかし10年前と比べても現在は子育て支援に対する理解も深まりインフラも充実してきたことは間違いありません。子供が成長し、巣立ってからの自分の人生を見据えて、周りよりゆっくりでも、時間がかかっても、諦めずに医療に携わりスキルを磨く努力を続けることが、最終的には自分の理想とするワークライフバランスに繋がるのではないかと考えています。

～センターの活動についてのおしらせ～

「臨床研修医オリエンテーション」において、一年次研修医に向けて当センターの支援概要の紹介を行います。また、ロールモデル紹介として、産科婦人科の添田わかな先生に話をさせていただくことになりました。

当センターではこれからも、先生方のキャリアアップにつながる情報や子育て支援に関する情報などを発信していきたいと思っておりますので、どうぞご活用ください。